

まちニュース



きる、市民参加型訓練」として運営された。

「反省点多かった」 市が防災訓練実施 市内13カ所に会場設置

市は七月八日、「令和五年度第一回いわき市総合防災訓練『大雨・洪水編』」を、市本庁舎のほか、市内十三カ所に会場を設置し、実施した。

訓練は、令和元年東日本台風を教訓に、「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」を目指して「テーマ」に設定。水害・土砂災害を想定して計画したシナリオに基づき、令和元年以降では初の試みとなった「誰でも自由に参加で



市で行われた訓練Ⅱ市本庁舎

民間企業と共同で、宅配便事業者による孤立地域や、避難所への物資輸送訓練。建設コンサルタント会社が協力した、ICタグ利用の避難行動の可視化など、官民連携も実現。

災害対策本部長を務めた内田広之いわき市長は、「シナリオに沿って準備した訓練でも、問題点があり、反省点多かった」

「買い物弱者」支援 宅配エリアを拡大

マルトと市連携

高齢者ら「買い物弱者」を支援しようと、いわき市を中心にスーパーを展開するマルト（安島浩社長）は、市と連携して宅配サービスの実証事業に取り組んでいる。七月からは配達エリアを田人町や平の沿岸部などに拡大。要望や採算などを検証し、事業化を目指す。

連携企画は「おつかいMaaS実証事業」として、二〇二二（令和三）年に開始。利用者が

と、振り返った。

小名浜公民館を会場とした、避難所開設作業に参加した男性は、「知らなかったことが多く、避難する際の参考になった」と語っていた。

4海水浴場に 多くの人が出

いわき市の「海開き」が七月十五日に行われ、勿来、薄磯、四倉、久之浜・波立の四海水浴場が開設された。期間は八月十五日まで。

真夏のビーチを「食」などの面から彩るのは、海の家。今年のは勿来、薄磯、四倉に一軒ずつ設置されている。四倉は震災後初出店。

このうち、薄磯の駐車場近く



薄磯に設置の海の家「鈴亀」
=昨年

にある「鈴亀」は六十年以上の歴史を誇る老舗。イカ焼きや焼きそばなどの食事、生ビールやソフトドリンクなどの飲み物を提供。五つのシャワー室を備えており、利用料は一回百円（税込み）。八月十五日まで休みなく営業し、時間は午前九時から午後四時まで。

カタログから電話注文した商品を宅配したり、来店購入した商品を届けている。対象は市内二店舗で、平白土店が平地区など、SC窪田店が勿来地区などに対



配達に出発する車両=マルトSC窪田店

同月六日にはSC窪田店で田人地区の出発式が開かれ、商品を積んだ車両が早速地区内で配達を行った。中山間地での実証は初めてで、同社では遠野、三和、川前地区などに順次エリアを拡大していきたい考え。運転免許返納の増加なども見据えている。

商品はすべて当日の店内価格。配達料は一個口（二十五キロまで）につき三百三十円（税込み）。詳しくは、宅配専用ダイヤル（電話〇五七〇一〇二五〇一〇）まで。

昨年は三年ぶりに海開きが行われ、四海水浴場に計約十二万人が来場。震災後過去最多だった。

中華麵房PAOーパオー 夏に「冷やし担々麵」

昼時には駐車場が混雑するほど人気の常磐水野谷町、「中華麵房PAOーパオー」（兼子与一郎さん経営）。暑い夏にぴったりの期間限定メニュー「冷やし担々麵」（九百五十円・税込み）と「冷やし中華」（九百円・同）が人気だ。

中でも「冷やし担々麵」Ⅱ写真Ⅱは、まろやかでコクのあるゴマだれと、ポリリウムのある甘じょっぱい肉が麵とからんで、箸が進む一品。

兼子さんは、「サツパリと食べられるように、タレにショウガを加えているのがポイント。期間は、九月いっぱいですのでぜひご賞味ください」と、話していた。

